

【令和5年9月26日、27日】

令和5年9月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通告者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
9/26 1番	藤田 至	子育て世帯の負担軽減を図るための施策について	町 長
9/26 2番	佐々木直也	1 町の「定住移住」政策について 2 町が目指している「学校」の実現に向けての 施策について	町 長 教育長
9/26 3番	中澤 莊也	1 学校給食の現状と課題・問題点について 2 まち独自の燃油価格・物価高騰に対する支援に ついて 3 8050 問題について	町 長 教育長 町 長 町 長
9/27 1番	大竹 勝子	1 学校給食の拡充について 2 大鐵問題について	町 長 教育長 町 長
9/27 2番	中原 緑	1 持続可能な地域を目指す町について伺う。	町 長
9/27 3番	石山貴美夫	1 大井川鐵道全線復旧を支援する会による県知事 への署名提出に同行した所感及び今後について 2 町第2期観光戦略プランについて伺う。	町 長 町 長

※ 議員の質問の制限時間は、1回につき30分以内（質問時間のみ）とし、
再質問以降は一問一答方式とする。

9月26日

発言順1番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
藤田 至	子育て世帯の負担軽減を図るための施策について	学校給食費の無償化について、県内35市町中本年度当初の時点で小山町、御前崎市、西伊豆町が完全無償化を示し、本年度値上げを予定していた河津町も一転、物価高騰による保護者の負担軽減のため無償化を決めたと伺っている。当町ではどう考えているのか伺いたい。	町長

9月26日

発言順2番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
佐々木直也	1 町の「定住移住」政策について	町長の掲げる重要な施策の一つに「定住移住の促進」がある。その中で、町長が今後、最も力を入れていきたいと考えているのは、どのような事業か。子ども政策(子育て環境、教育環境)を一層充実させていく考えはあるか。	町長
	2 町が目指している「学校」の実現に向けての施策について	教育委員会では「全国から選ばれる学校を目指したい」との話を伺ったことがある。 その実現のためには一層の特色ある学校づくりが必要だと考える。 来年度からスタートが見込まれる義務教育学校の特色も含めて、中長期的な町教育委員会の考えを伺う。	教育長

9月26日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中澤 莊也	1 学校給食の現状と課題・問題点について	<p>(1) 学校給食における食品ロスが大きな問題となっている。その現状をどのように捉え、食品ロスをなくすためにどのような取り組みをしているか伺う。</p> <p>(2) 食材費の高騰により、給食費の値上げも検討しなくてはならない時期に来ているように思える。</p> <p>家計負担の軽減や子育て支援の充実という観点から、給食費の値上げ、無償化について、どのように考え、取り組んでいこうとしているのか伺う。</p> <p>(3) 学校給食共同調理の管理運営に指定管理者制度の導入を図る考えはないか伺う。</p> <p>(4) 学校給食における食物アレルギーの児童生徒への対応の状況と課題等について伺う。</p>	町 長 教育長
	2 まち独自の燃油価格・物価高騰に対する支援について	<p>(1) 最近の社会情勢等の大きな変化により、燃油価格や物価の高騰が続き、町民の家計に大きな影響を及ぼしている。そこで、令和4年度にコロナ緊急対策臨時交付金を財源として行った燃油助成券交付事業を、令和5年度以降において一般財源を利用して行う考えはないか伺う。</p>	町 長
	3 8050 問題について	<p>(1) 8050 問題が顕在化する中で、支援体制の充実を早急に図る必要がある。社協、医師、ハローワーク等との連携した相談窓口を開設し、情報の共有化を図り、より適切な支援につなげる考えはないか伺う。</p>	町 長

9月27日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
石山貴美夫	1 大井川鐵道全線復旧を支援する会による県知事への署名提出に同行した所感及び今後について	大井川鐵道全線復旧願う町民4,080人、町外者25,395人、オンライン署名6,441人合計35,916人の署名が、大井川鐵道全線復旧を支援する会により県知事へ提出にされ、町長は同行された。どのような手応え、所感を持たれたか伺う。また、今後についての考えを伺う。	町長
	2 町第2期観光戦略プランについて伺う。	町の第2期観光振興戦略プランが策定された。この戦略プランで最も重点を置いている点は何か伺う。 (1) 最近の町の観光客等入込状況はどうか。 (2) 町内の観光に関連する事業者の現状をどう把握しているか。 (3) 観光客数の目標は、5年後45%増の53.5万人としている。現実約4割は鉄道入込だが、どうお考えか。 (4) プランの基本構想で、目指す将来像は、「新緑・紅葉、大井川、お茶と温泉、SLのまち」とある、これをどう実現していくのか。 (5) 大井川鐵道の運休のなか、町の観光関連産業は踏ん張って1年経過したが、町は今後、現状下で、どのような対策をしていくのか。 (6) 令和5年度事業で、現状に反映させた対策をしたか。その内容、結果は出ているか。 (7) 新年度に向けて、観光誘客PR活動を強化すべきではないか。	町長